

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	柏木実業専門学校
設置者名	学校法人 柏木学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	経営経理研究科	夜・通信	10単位 (210時間)	7単位 (160時間)	
	医療情報学科	夜・通信	10単位 (210時間)	7単位 (160時間)	
	情報ビジネス科	夜・通信	10単位 (240時間)	7単位 (160時間)	
(備考) 令和8年度(1年科目)単位表記 (2年科目)時数表記 のため併記 1単位あたりの授業時数が異なるため、同一単位数であっても総時数に差異がある					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://kashiwagi.ac.jp/~jitsugyo_info/info/publish.htmlにて公表

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	柏木実業専門学校
設置者名	学校法人 柏木学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

事務所にて閲覧可。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元文部科学大臣	R7年5月29日～令和9年度定時評議員会の終結の時	組織運営への助言・提言
非常勤	弁護士、法律事務所所長	R7年5月29日～令和9年度定時評議員会の終結の時	組織運営への助言・提言
非常勤	他学校法人理事長	R7年5月29日～令和9年度定時評議員会の終結の時	組織運営への助言・提言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	柏木実業専門学校
設置者名	学校法人 柏木学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 年度初めに授業科目担当教員が当該授業のシラバスを作成し、教務に提出する。シラバスには、授業の方法及び内容、到達目標、使用教科書、補助教材、試験(成績評価)の方法等が記載されている。提出されたシラバスは教務の承認を得たのち、授業初日にそれぞれの教科担当教員から学生に配布される。	
授業計画書の公表方法	学生配布、教務課にて閲覧可。
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 各授業科目の履修認定は、定期試験および検定合格状況・普段の学習状況等を総合し、成績会議において認定する。 定期試験は、各授業科目の出席時数が授業実施数の3分の2に達している学生を対象に、原則として、前期試験を7月第3～4週、後期試験を1月第3～4週に実施する。 進級・卒業認定は2月中旬に開催される進級判定会議、卒業判定会議にて認定する。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績の評価は点数をもって示し、成績の判定はA(85点以上)、B(70点以上85点未満)、C(50点以上70点未満)、D(50点未満)として、A・B・Cを合格とする。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	年度はじめのオリエンテーションで各学生に配布する学生便覧に記載し周知。教務課にて閲覧可。
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業については、本校所定の教育課程における全ての教科・科目においてAからCの評価を受け合格が認められた者。 卒業の認定は、2月中旬に開催される、卒業判定会議にて認定する。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	年度はじめのオリエンテーションで各学生に配布する学生便覧に記載し周知。教務課にて閲覧可。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	柏木実業専門学校
設置者名	学校法人 柏木学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	法人事務局にて閲覧可。
収支計算書又は損益計算書	法人事務局にて閲覧可。
財産目録	法人事務局にて閲覧可。
事業報告書	法人事務局にて閲覧可。
監事による監査報告（書）	法人事務局にて閲覧可。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務 専門課程	経営経理研究科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1,800 単位時間	1,080 時間	180 時間	540 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50 人		13 人	9 人	13 人	10 人	23 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年度初めに授業科目担当教員が当該授業のシラバスを作成し、教務に提出する。シラバスには、授業の方法及び内容、到達目標、使用教科書、補助教材、試験（成績評価）の方法等が記載されている。提出されたシラバスは教務の承認を得たのち、授業初日にそれぞれの教科担当教員から学生に配布される。
成績評価の基準・方法
（概要） 各授業科目の履修認定は、定期試験および検定合格状況・普段の学習状況等を総合し、成績会議において認定する。成績の評価は点数をもって示し、成績の判定はA（85点以上）、B（70点以上85点未満）、C（50点以上70点未満）、D（50点未満）として、A・B・Cを合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校所定の教育課程における全ての教科・科目においてAからCの評価を受け合格が認められた者。
学修支援等
（概要） 各教科担任との連携のもと、クラス担任が中心となって、個々の学生の修学状況を把握し、個別相談・補講等を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7 人 (100%)	0 人 (0%)	6 人 (85.7%)	1 人 (14.3%)
（主な就職、業界等）物流業経理事務 学校事務 観光・宿泊業			
（就職指導内容）入学当初から、進路指導部と担任が連携してきめ細かな指導を行う。2 年生を対象として、進路ガイダンス、進路相談会、校内会社説明会等を実施する。1 年生には、履歴書作成、面接練習、企業研究の方法等を指導する。			
（主な学修成果（資格・検定等））日商簿記検定 3 級・全経簿記能力検定 2 級商業簿記・全経簿記能力検定 2 級工業簿記・全経消費税法能力検定 3 級・全経コンピュータ会計能力検定 2 級 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13 人	0 人	0.0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	医療情報学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1,800 単位時間	750 時間	570 時間	480 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		12 人	0 人	13 人	10 人	23 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年度初めに授業科目担当教員が当該授業のシラバスを作成し、教務に提出する。シラバスには、授業の方法及び内容、到達目標、使用教科書、補助教材、試験（成績評価）の方法等が記載されている。提出されたシラバスは教務の承認を得たのち、授業初日にそれぞれの教科担当教員から学生に配布される。
成績評価の基準・方法
（概要）各授業科目の履修認定は、定期試験および検定合格状況・普段の学習状況等を総合し、成績会議において認定する。成績の評価は点数をもって示し、成績の判定はA（85点以上）、B（70点以上85点未満）、C（50点以上70点未満）、D（50点未満）として、A・B・Cを合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要）本校所定の教育課程における全ての教科・科目においてAからCの評価を受け合格が認められた者。
学修支援等
（概要）各教科担任との連携のもと、クラス担任が中心となって、個々の学生の修学状況を把握し、個別相談・補講等を実施する。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4 人 (100%)	0 人 (0%)	2 人 (50.0%)	2 人 (50.0%)
(主な就職、業界等) 病院 クリニック			
(就職指導内容) 入学当初から、進路指導部と担任が連携してきめ細かな指導を行う。2年生を対象として、進路ガイダンス、進路相談会、校内会社説明会等を実施する。1年生には、履歴書作成、面接練習、企業研究の方法等を指導する。			

（主な学修成果（資格・検定等））技能認定振興協会医科医療事務管理士・日本医療報酬調査会調剤事務検定・介護事務検定、全国医療福祉協会医療事務O A実務能力認定試験・介護職員初任者研修
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13 人	1 人	7.7%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任が定期的に個別面談を行い個々の学生の状況把握に努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	情報ビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1,800 単位時間	1,020 時間	240 時間	540 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		215 人	209 人	13 人	10 人	23 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度初めに授業科目担当教員が当該授業のシラバスを作成し、教務に提出する。シラバスには、授業の方法及び内容、到達目標、使用教科書、補助教材、試験（成績評価）の方法等が記載されている。提出されたシラバスは教務の承認を得たのち、授業初日にそれぞれの教科担当教員から学生に配布される。
成績評価の基準・方法
（概要）各授業科目の履修認定は、定期試験および検定合格状況・普段の学習状況等を総合し、成績会議において認定する。成績の評価は点数をもって示し、成績の判定はA（85点以上）、B（70点以上85点未満）、C（50点以上70点未満）、D（50点未満）として、A・B・Cを合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要）本校所定の教育課程における全ての教科・科目においてAからCの評価を受け合格が認められた者。
学修支援等

（概要）各教科担任との連携のもと、クラス担任が中心となって、個々の学生の修学状況を把握し、個別相談・補講等を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
138 人 (100%)	5 人 (3.6%)	107 人 (77.5%)	26 人 (18.8%)
（主な就職、業界等） 観光・宿泊 物流 メーカー 外食 小売 福祉等			
（就職指導内容）入学当初から、進路指導部と担任が連携してきめ細かな指導を行う。2年生を対象として、進路ガイダンス、進路相談会、校内会社説明会等を実施する。1年生には、履歴書作成、面接練習、企業研究の方法等を指導する。			
（主な学修成果（資格・検定等））日商簿記検定2級・日商簿記検定3級・全経簿記能力検定2級商業簿記・全経簿記能力検定2級工業簿記・全経コンピュータ会計能力検定2級・全経消費税法能力検定3級			
（備考）（任意記載事項） 「その他」→ 就職活動中の他、帰国、家族滞在ビザへ変更等含む			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
235 人	9 人	3.8%
（中途退学の主な理由） 留学生帰国・進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任が定期的に個別面談を行い個々の学生の状況把握に努めている		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
経営経理 研究科	200,000 円	564,000 円	192,000 円	
医療情報 学科	200,000 円	564,000 円	192,000 円	
情報ビジ ネス科	200,000 円	564,000 円	192,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://kashiwagi.ac.jp/~jitsugyo_info/index.html		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制） 本校設置学科である経営経理や医療介護事務に精通した委員が参画し、実践的な職業教育等を目的とした本校の教育活動その他の学校運営について評価を受ける。主に、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取り組みの適切さ等について評価を受け、その結果を公表することにより、学校として組織的・継続的な改善を図っていく。学校関係者委員会は毎年年度末に開催する。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
大和商工会議所	令和7年10月～ 令和9年9月	企業等委員
松和電子システム株式会社	令和7年10月～ 令和9年9月	企業等委員
株式会社ネエチア	令和7年10月～ 令和9年9月	企業等委員
医療法人社団総生会 麻生総合病院	令和7年10月～ 令和9年9月	企業等委員
田沼靖朗税理士事務所	令和7年10月～ 令和9年9月	企業等委員
第三者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://kashiwagi.ac.jp/~jitsugyo_info/index.html		
(備考)		
第三者評価未実施の為、学校関係者評価について記載		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://kashiwagi.ac.jp/~jitsugyo_info/index.html
--